

NIGHT FLIGHT SPECIAL II

【国内編】そのお金は、どこを流れている？

初級レベル

世界で稼いだお金は、日本へ戻ったあとどうなるの？

世界編では、日本の会社が、

日本で作って世界へ売る

だけではなく、

海外でも仕事をする。

海外へ投資する。

世界から所得を得る。

そして、

海外から日本へお金が入ってくる

という道もあることを見てきました。

では、ここで飛行機を日本へ戻しましょう。✈

世界で稼いだ。

海外から資金も入ってきた。

では——、

そのお金は、日本の中で次にどこへ行くのでしょうか？

今回の国内編では、この「？」を追いかけます。

お金は、会社に着陸して終わりではない

たとえば、ある会社がたくさんのお金を稼いだとします。

そのお金を全部、会社の金庫に入れて、

「やった！たくさん貯まった！」

で終わったらどうでしょう。

お金はそこから動きません。

でも実際の会社では、いろいろなところへお金を使います。

社員に給料を払う。

材料を買う。

電気代を払う。

新しい機械を買う。

研究をする。

工場を建てる。

税金を払う。

株主へ配当することもあります。

つまり、

会社は「お金の終着駅」ではありません。
会社から、また次の場所へお金が出発します。

 たとえば、新しい工場をつくったら？

ここで一つの会社が、
「日本に新しい工場をつくろう！」
と決めたとします。

大きなお金が動き始めます。
まず工場を建ててもらいます。

会社 → 建設会社

次に工場で使う機械を買います。

会社 → 機械メーカー

機械には、たくさんの部品が必要です。

機械メーカー → 部品会社

さらに、
電気が必要です。
水が必要です。
材料が必要です。
トラックで運ぶ必要もあります。
すると、お金は一本の道ではなく、
あちらこちらへ枝分かれして流れていきます。

 一本の大きな木を想像してみよう

大きな工場を一本の木だと考えてみます。
太い幹があります。
そこから枝が伸びます。
建設会社。
機械メーカー。
材料会社。
電気設備会社。
運送会社。
さらに、その会社から別の会社へ枝が伸びます。
部品を作る町工場。
工具を作る会社。
修理をする会社。
食事を提供する会社。

働く人が住む住宅。

一つの工場から、

たくさんの仕事の枝

が伸びていくわけです。

だから巨大な工場への投資は、その会社だけの話ではありません。

 **そして、お金は「人」へ届く**

仕事が増えれば、人が必要になります。

会社は社員へ給料を払います。

すると今度は、お金が会社の外へ出ていきます。

給料を受け取った人は、

スーパーで食べ物を買う。

洋服を買う。

家賃を払う。

レストランへ行く。

旅行をする。

すると、

工場から始まったお金が、町のお店までやって来ます。

ここが面白いところです。

最初は、

「○兆円の工場建設」

というニュースだったものが、

少しずつ、

私たちの暮らしへ近づいてくる

のです。

 **お金を「血液」だと思ってみよう**

ここで NIGHT FLIGHT の大切なたとえを使います。

人間の体には血液があります。

心臓が血液を送り出します。

血液は、

太い血管から、

細い血管へ、

さらに体のすみずみへ流れていきます。

もし心臓の近くだけに血液があって、

指先や足先まで届かなかったら困ります。

経済のお金も少し似ています。
大企業だけにお金があっても、
それだけではありません。
取引先へ。
中小企業へ。
働く人へ。
町のお店へ。
すみずみまで流れていくことが大切です。

♥ 工場は「お金の心臓」になる？

そこで今回、工場をこんなふうに考えてみます。

工場は、お金を送り出す大きなポンプ。

工場そのものを建てるだけでなく、
周りの会社へ仕事を送り出します。

工場

↓

建設

↓

設備

↓

部品

↓

材料

↓

物流

↓

働く人

↓

給料

↓

買い物

こうしてお金が流れます。

これが今回探している、
「日本経済のお金の血流」
です。

😬 でも、ちょっと待って

ここで NIGHT FLIGHT お得意の、

「？」

です（笑）。

工場ができた。

仕事が増えた。

会社の売上も増えた。

それなら、

「みんな豊かになりました！」

と言っているのでしょうか？

まだ分かりません。

たとえば、ある町工場の売上が増えたとします。

でも同時に、

材料が高くなった。

電気代も上がった。

運送代も上がった。

給料も上げなければならない。

すると、

たくさん売れたのに、お金があまり残らない

ことがあります。

🍏 100 円で売っても、100 円もうかるわけではない

リンゴ屋さんで考えてみましょう。

リンゴを 100 円で売りました。

では、

100 円全部がもうけでしょうか？

違いますね。

リンゴを仕入れるお金がかかっています。

お店の電気代もかかります。

商品を運ぶお金も必要です。

働く人への給料もあります。

だから、

「売れた金額」と「会社に残るお金」は違う

のです。

ここは国内編で、とても重要になります。

✂ でました。「粗利」

ここで登場します。

粗利（あらり）

.....でました（笑）。

初級編では難しい計算はしません。

まず、

商品売ったお金から、その商品を用意するために直接かかったお金を引いたあと、どれくらい残るかな？

を見るものだと思ってください。

この「残る部分」が十分になれば、会社は次へ進みにくくなります。

💰 **お金が残れば、また次へ動かせる**

会社にきちんと利益が残れば、

社員の給料を上げる。

新しい機械を買う。

新しい人を雇う。

研究をする。

もっと大きな仕事を受ける。

ことができます。

つまり、

工場をつくる

↓

周りの会社の仕事が増える

↓

会社に利益が残る

↓

給料が増える

↓

買い物が増える

↓

また商品が売れる

↓

会社が次の投資をする

という輪ができます。

🔄 **ぐるぐる回り始めました。**

これこそ、私たちが探したかったものです。

最初の 4158 兆円へ戻ってみよう

ここで、最初の話を出してください。

「日本には 4158 兆円もある。それなのに、なぜ？」

という疑問から、この NIGHT FLIGHT は始まりました。

初級編で考えたのは、

たくさん持っていること

と、

たくさん使えること

は同じではない、ということでした。

国内編まで来ると、もう一つ分かってきます。

大切なのは、

お金を持っているだけではなく、お金が動くこと。

資産から投資へ。

投資から工場へ。

工場から会社へ。

会社から人へ。

人から町へ。

そして、また次の投資へ。

初級レベルのポイント

世界で稼いだお金や、日本へ入ってきたお金は、

日本へ到着して終わり

ではありません。

本当に大切なのは、

そのお金が、次にどこへ行くのか。

大企業だけで止まっていないかな？

中小企業まで仕事が来たかな？

会社にちゃんとお金が残ったかな？

働く人の給料まで届いたかな？

その人が町で使えるようになったかな？

そして会社は、また新しい投資ができたかな？

こうやって、お金の行き先を一つずつ追いかけます。

そして、次の「？」へ

工場から、たくさんの会社へお金が流れることが分かりました。

ところが――、

「工場をたくさん作れば、それだけで日本は豊かになるの？」

また新しい疑問が出てきました。

答えは、まだ分かりません。

次に調べたいのは、

「売上が増えた会社に、本当に利益は残っているの？」

です。

ここから、

売上 → 粗利 → 利益 → 給料 → 次の設備投資

という、もう一段細い血管へ入っていきます。

 寄り道研究所

NIGHT FLIGHT SPECIAL II 【国内編】

● 初級レベル解説でした。

もう少し詳しく、設備投資・企業利益・粗利・賃金・消費がどうつながるのかを知りたい方は、

● 中級レベルへ。

 次の寄り道へ、ご搭乗ください。